

コミュニティ静岡



あなたのまちの
コミュニティ活動情報誌

2013
10月
No.132

歌声喫茶で外に出るきっかけを

大原新町自治会有志の会（磐田市）



リクエストを受けたら次の会までに練習！練習！



歌声に笑顔に乗せて

▼大原新町自治会長を務める平木さんは、同じ団地内に住む引きこもりがちな高齢者が、外に出て地域の人たちと交流をする機会を作ろうと、毎月第4日曜日に同町の集会所で有志5人と“歌声喫茶”を開催している。

▼本年度からこの地域で初の試みとして始めた歌声喫茶。回覧板やポスターで周知活動を行い、初回は30人もの参加者があった。

曲目は『ガード下の靴磨き』『茶摘み』『小指の思い出』など懐かしい曲や唱歌など、参加者のリクエストでさまざまな曲をギターとフルートの伴奏で歌い上げ、お菓子とコーヒーなどを飲みながら地域住民の交流の場を提供している。

▼元々音楽が好きで、“歌声喫茶”を始めた平木さんは「好きでやっていることだから特に苦労はないが、草刈りの日と重なってしまった時は大変だった」とのこと。

▼最初は、高齢者を対象にしていたが、会を重ねるにつれ団塊世代の参加者も加わり、歌をきっかけに良い交流の場となっている。1年間続けてみて、評判が良ければ来年度も継続する予定だ。

只今、ピアニストを募集中!!

◇代表：平木敏雄さん（問合せ・☎0538-55-3110）

【情報提供・森岡たか子】

Contents No.132

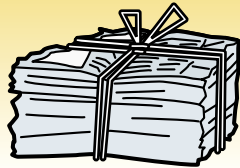
各地の活動	●磐田市.....	1
クローズアップ	●捨てればごみ・活かせば資源=古紙回収でお宝に!(掛川市)...	2
専門委員コラム	●「まちづくり」の仕事 川口良子氏.....	3
各地の活動	●熱海市・伊豆の国市・富士市・島田市・菊川市.....	4~5
地域訪問記	●家族が、地域が命を守る(沼津市).....	6
コミねっとから	●キラリッ!コミねっと、コミカレ研修スナップ.....	7
コミ推協から	●コミュニティ活動賞など.....	8



のりづき・りえ

クローズアップ

捨てればごみ・活かせば資源 =古紙回収でお宝に!



NPO法人WAKUWAKU西郷 (掛川市)

掛川市西郷地区は、光あふれる土地。お茶・イチゴなど農業が盛んである。

生まれ育った西郷への想いについて、環境を軸に人とゆったりつながりながら気長に活動をしている代表の松浦氏にお話を伺った。

西郷小学校と地域

きっかけはPTA会長を務めた平成17年当時、全国で学校内の事件が頻発していた。各地で学校の門を閉鎖する、パトロールを強化するなど学校と社会が閉ざされた関係になっていくことに危機感を覚えた。「学校を閉鎖的な場所にしてはいけない。子どもたちを地域が一体となって育てる。学校は地域と離れてはいけない、地域の拠点でなければ」この思いをどう具体化していくか?、ずいぶん思案した。

そんな折、恩師であるNPO法人エコロジーアクション桜ヶ丘の松下理事長と再会した。「自分の生まれ育った土地、そしてわが子を育てる環境、地域と学校との関わり、人のつながり」など心の内を相談した。松下理事長は一歩先にいた。平成15年、中学生と地域住民で回収した古紙売却の収益金で桜ヶ丘中学校に太陽光発電を設置したのである。「これだ!」と思った。

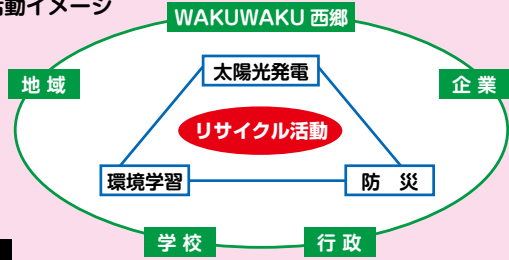


▲古紙提供者すべての人が協力者

環境活動「ソーラー大作戦」

早速、地元の有志に相談し、「ソーラー大作戦」と称して地域ぐるみで古紙回収を始めた。地区で始めることを西郷地区長に相談し賛同を得た上で、9つの区会にも活動の説明に行き「WAKUWAKU西郷の回収日に古紙を出していただければ、太陽光発電所の資金になります。」「ごみ減量と子どもたちへの環境教育になります。」「災害時には西郷小は防災拠点となり太陽光発電で電気の供給ができ

WAKUWAKU 西郷の活動 環境活動イメージ



- 組織**
- ・会員数：正会員 14 人 + サポート会員 36 人
 - ・NPO 設立：平成 19 年 7 月 2 日
 - ・活動地域：西郷地区 (西郷小学校区)

ます。」と地区住民に協力をお願いした。

この時期、ごみ減量とCO2削減に取り組み始めた行政ともタイミングがピタッと合い、補助金の交付やモデル事業などあっという間に進んでいった。しかし、学校施設に設置する事は容易ではなく、市長の後押し、教育委員会、行政や企業の協力が本当にありがたかった。決して単独では成し得ないこともみんなの熱意が一つになったからできた。

平成20年、1年間の活動で集まった資金を基に、いつでも誰にでも見えるように西郷小学校の駐車場へ太陽光発電所を設置した。災害時に稼働できるよう地盤を固め、非常時には住民に電気の供給ができるコンセントを設置した。発電量やCO2削減量は、表示パネルを校舎内とともに正門脇にも設置し、地域住民が誰でも確認できるようにした。この後、「西郷みらい館」にも太陽光発電所を設置した。

この間、環境活動の情報を幅広く収集し、良いと思ったことを素直に実践した、児童・教員・地域住民が一緒に朝顔やゴーヤを育てる活動をしているほか、毎年11月に開催される西郷ふれあいフェスティバルでは、



▲10Kw、全長72m、56枚のパネルが並ぶ



▲発電量などの表示パネル

電源切り替え訓練も兼ねて、太陽光の電気でPTAがフランクフルトを焼いている。また、エコをテーマに俳句・絵の展示やエコ石鹸作りも行う。



▲太陽光発電の電気で焼くフランクフルト

現在、5年計画で地区内防犯灯をLEDへ交換することにも力を入れている。

広がっていく思いやりの心

ごみ減量や小学校に緑のエコカーテンを取り入れる活動により掛川市はごみ減量日本一に選ばれた。環境活動は、確実に掛川市全域に広がっている。企業から提供された古紙売却の収益金は市の環境基金（通称 段ボール基金）に積み立てられ、学校や公民館への太陽光発電所の設置に役立てられている。

「子どもたちとの活動は楽しく、笑顔を見るとまた頑張ろうと元気が湧く。かけがえのない西郷、地球と共に生きる地域をめざし、次世代へ継続していきたい。」と語る松浦氏の言葉からも、自然を大切にする心と人の和が住民主体の地域づくりを推し進め、強く温かい地域づくりがさ

れていることが伝わってくる。

◇代表：松浦昌巳さん（☎090-6618-9525）

【情報提供 島元正彦】



レポート・萩原佐枝子編集委員

■推進専門委員コラム

「まちづくり」の仕事

合同会社デザイン・アープ代表 川口良子 氏



私事で恐縮だが、まちづくりに関わる仕事を始めて、30年近くになろうとしている。社会の変化が著しい中、“不易流行”一変えるべきことと変えてはいけないことに留意しつつ、試行錯誤しながらの日々である。

～はじまりは～

地域を元気にすることを目的とした、地域おこし施設や商店街の修景整備などの仕事の場面で、頻繁に耳にし、深く考えさせられた言葉。

「施設ができたり、街なみがきれいになったりしただけでは、地域は元気にならない!」、「はい、おっしゃるとおり!」、でも「せっかく創る施設、地域で役に立ててほしいのです!」。では、「どうすればよいのか?」、「私に何ができるのか?」。そこで、住民参加型の施設づくりのプロセスに悪戦苦闘しているうちに気づいた。こうした具体的なものづくりを対象にした喧々諤々の話し合いは、地域の人たちが、地域への思いやそれぞれの価値観を伝え合う格好の機会であり、みんなで地域の意志を決めていく貴重な経験となることを。日常生活で、地域との関わりが薄くなりしがちな社会環境

にあって、こうした機会は貴重だと。だから、大変だけど、敢えて取り組んでみよう。

～まちづくりが仕事に～

ものづくりを、人と人、人と地域を結びつけることに役立てたいと試行錯誤する中で、さまざまな出会いや機会に恵まれ、ハード、ソフトの別なく「まちづくり」が仕事となっていった。当たり前のことだが、地域は一つとして同じものはない。地域を見つめ、そこで出会った人たちと対話し、オーダーメイドで地域を良くする方策を共に考え、その活動、実践を手伝う。地域では当たり前のことである意見、価値観の違いを、反目や衝突、停滞につなげるのではなく、相互理解、啓発による発見や創造に役立たせるよう特に留意している。残念ながら、時々失敗したりもする。そんな経験が自分を成長させてくれている。私のような「まちづくりの専門家」は、やがては御用済みとなり、地域の人たち自身による自立したまちづくりが、多彩に展開される社会が実現することが理想なのだろうが、今しばらくは、お役に立てることもありそうだと感じている。

まちから・むらから

● 熱海市



元文化庁長官近藤氏と

せた末代上人と熱海、富士山との強い関連性について内外へのアピールに取り組んだ。

▼平成9年、熱海の日金山の藪から末代上人の供養塔が発見された。末代上人と熱海の関連を調べたところ、富士に登ること数百度の伊豆走湯山（伊豆山神社）の僧と分かっ

富士山世界文化遺産推進への寄与 富士山と末代上人・熱海の会

▼富士山の世界文化遺産登録への気運が高まってきた平成18年に設立された「富士山と末代上人・熱海の会」は、その登録を後押しするため、山岳仏教を定着さ

た。同会は末代上人を中心に、熱海と富士山に関する研究や講演会、供養祭、文化財保全活動などを実施している。昨年は、上人の案内看板を多くの人たちの寄付により日金山に設置した。また、富士山世界文化遺産国際シンポジウムやユネスコの委員のレセプション等に参加し、末代上人の富士山信仰を紹介することによって、富士山が世界文化遺産の基準である「歴史と信仰、芸術」に値するものであるとアピールした。今年8月には、世界遺産登録推進に寄与したことに對し、知事より感謝状が贈呈された。

▼設立当初30人だった会員も、現在では108人に増えた。今後はHPを立ち上げ、熱海と末代上人を国内外に発信し関係団体とも連携しながら観光にも役立てていく予定だ。

◇代表：真鍋梅美さん（問合せ・☎0557-81-4869）

【情報提供・菅沼敏男】

● 伊豆の国市

子供たちと高齢者のふれ合い交流会 多田子ども会と多田いきいきサロン

▼去る7月25日、伊豆の国市葎山の多田公民館で、同じ地域に暮らす子どもたちと高齢者が一堂に集まり、親しみや信頼を深める交流会が行われた。

▼サロン設立から5年目。より一層の発展を図ろうと地元の方を講師に迎え、今回初めて「折紙細工」をテーマに開催した。子ども22人、高齢者32人がグループごとに分かれて頭と手を使い、作品が出来上がると歓声上がる賑やかさ。子どもたちの自己紹介では、自分の爺婆の名前を言うことで、「〇〇さんちのお孫さん!」と親しみがわき、親睦はさらに深まる。

▼今回、講師のお宅に小学生を連れて何回か足を運び、実際に子どもたちが折れるのかどうか確認し、ボランティアで参加する方も事前に練習するなど下準備に時間をかけた。そのおかげで大盛況のうちに終わり、来年度も折り紙細工

を行うことを計画した。

▼「子どもたちと高齢者が気軽に声をかけ合うサロン活動を通して、孤立した高齢者のいない地域づくりを進めたい」と代表者の言葉。高齢者がお客になるのではなく共同して物づくりやゲームを行うことでお互いの絆を強められ、孫の世代と一緒に過ごせることに高齢者の方々も喜びを感じている。

◇代表：高氏昭江さん（問合せ・☎055-949-0200）

【情報提供・小川昌年】



高学年は立体型に挑戦

● 富士市

踊る阿呆で笑顔の人生!! 立花会



イベント出演の1コマ

歳までがイベントや慰問活動に参加し、踊りを披露している。

▼毎週水曜日に地区の公民館に集まり、年1回行われる地区の文化祭に向けて練習に励む。最大のイベントの文化祭では、照明のついたステージでスター気分ですり、日頃の練習の成果を披露。

▼富士市の旧富士川地区で活動している立花会は、平成10年4月に発足し、現在会員は8名。健康と趣味を兼ねた踊ることが大好きな仲間が集まり、上は85歳から下は65

また、その間に地域のふれあい会、八坂神社夏祭り、観月会などに呼ばれて踊りを披露し、月1,2回はグループホームへの慰問活動も行っている。

▼グループホームやふれあい会は高齢者が多いので、昔懐かしい曲や音頭が中心だが、中でも「同期の桜」では衣装もバッチリ決め、ナレーションも入れて涙を誘う。

▼「みんな歳を取っても休まず毎週練習に集まるのは、踊りの練習ばかりでなく、お話をするのが楽しいから」と舞踊講師の望月さんは言う。みんなと歌いながら踊り、交流をすることで心と体が健康になる。正に趣味と実益を兼ねた団体である。

◇代表：倉内美枝子さん（問合せ・☎0545-81-0068）

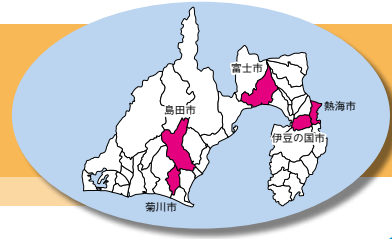
【情報提供・天野ひろ子】



役になりきります

各地の活動

各地の活動情報



● 島田市



やまめと一緒にいただきます

たりして1日を楽しく過ごす会を開催した。

▼今年で4回目となるこのイベントは、やまめ平の方々のご厚意により、地域の高齢者のために施設を1日開放していただいている。

参加者は28人。やまめ釣りでは、最高で10匹、最低でも1、2

安心して童心に戻る

やまびこクラブ

▼島田市伊久身地区の高齢者ふれあいサロン「やまびこクラブ」は、地域の高齢者が地元にある体験施設「やまめ平」に集い、やまめ釣りや、流しそうめんを食し

匹は釣りあげキャーキャーと賑やかな声が園内に響いた。釣ったやまめを塩焼きにして、流しそうめんと一緒に昼食を楽しむ。

日ごろ、外に出ることが少なくなっている高齢者にとって、小型バスでの送迎もあり、保健師さんも準スタッフとして参加しているので、友人を誘い合い安心して参加することができる。

▼参加費は有料(800円)、誰でも釣れるように指導してもらえ、釣ったやまめは、お土産に持ち帰ることができる。

▼同会は平成4年に発足し、途中3年間スタッフの高齢化などにより活動を中止していたが、平成21年にコミカレ修了者8人が中心となり活動が復活し現在に至る。会員数74人、スタッフ25人

◇代表：石神文雄さん(問合せ・☎0547-39-0618)

【情報提供・萩原由美子】

● 菊川市

食から始まる異文化交流

ひらかわみんなの交流会実行委員会

▼菊川市平川地区は、地区内に居住する外国人比率が県下でも最も高く(15%前後)、地域で行う各イベントに外国人も参加できるよう呼びかけをしている。今回、もっとお互いのことを知り仲良くなろう!そのためには“食”が手取り早いと、“食”を通じての交流促進を目的に「ひらかわみんなの交流会」を開催した。

▼開催にあたり実行委員が個別にお願いしたところ、皆さん二つ返事で引き受けてくれた。参加国は5カ国。ブラジル(牛串焼き・パステル・ブラジルデザート)、韓国(キムチ・チヂミ)、フィリピン(バナナトロン)、メキシコ(タコス)、日本(焼き鳥・豚汁他)。食べ物は格安で提供され、珍しい外国の食べ物に日本人も満足。

会場では子ども対象の「流しそうめん」コーナーや、フラダンス愛好会の皆さんによる「フラダンスショー」も行

われた。1,200人余の来場者の4割が外国人の方々に、まさに国際色豊かなイベントとなった。

▼これまでのイベントは日本人中心だったが、企画段階から地域に在住する外国人を交えて、日本人との交流促進を図ったのがみそである。来年は、もう1、2カ国参加国を増やしたいと希望している。

◇代表：石井水穂さん(問合せ・平川会館☎0537-73-1010)

【情報提供・橋本哲夫】



楽しい流しそうめん

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます(アドレス <http://www.sizcom.jp>)

No	市町	活動名	主催者	月日	場所
1	東伊豆町	会員の和を第一に	稲取短歌会	毎月20日	稲取田町区公民館
2	熱海市	鎌倉古道整備に地元も協力～ハイキングコース計画へ明るい見通し～	熱海コミカレ・ねっとわーく	平成25年7月7日(日)	熱海市伊豆山
3	富士市	田子浦みなと祭り	田子浦地区まちづくり推進会議	平成25年7月14日(日)(年1回)	ふじのくに田子浦みなと公園会場
4	島田市	金谷本町夏祭り	ほんまち輪の会&金谷元町自治会	平成25年8月3日(土)	島田市役所金谷支所前駐車場
5	吉田町	地域の子供は地域で育てる“通学合宿”	コミカレ・ねっとわーく吉田支部	平成25年6月13日～15日(年1回)	長源寺
6	掛川市	地域の子供を守り、成長が楽しみ	平松勝己さんと地区老人クラブ	通学時間帯 朝と夕方1時間余り	地区(野中)の交差点
7	御前崎市	近江屋ラーメンプロジェクト	御前崎市商工会商業部	平成25年11月23日(土)、24日(日)	御前崎市役所裏 八千代公園内
8	菊川市	第六回ふるさと夏まつりおがさ	ふるさと夏まつりおがさ実行委員会	平成25年8月10日(土)(毎年8月に開催)	小笠セントラルパーク(中央公民館隣接)

地域訪問記



左：山田副隊長 右：牧田隊長

家族が、地域が命を守る

～ある女性消防団員の活動～

沼津市女性消防団紫明隊 (沼津市)

紫明隊(しめいたい)…沼津市にある女性だけの消防団の名前である。由来は沼津市の色が「紫」であることに加え、消防の「使命」を担うという意味合いを込めて「紫明隊」と命名された。平成4年7月に発足し、現在19歳から60歳代までの20名の団員がいる。

主な活動としては、火災予防週間などにおける防火広報活動を始め、災害弱者に対する防火指導や、消防団員や市民に対する救命講習などがある。



楽しく覚える救命講習



指導に当たる山田副隊長と消防団員の皆さん

助けられる命がある

「応急手当の知識があれば助けられる命がある」紫明隊牧田隊長の言葉である。応急手当の知識があれば、ほかに道具はなくても救える命があるということだ。そんな思いをくみ取ったのが、自分の所属する愛鷹地区で、今年度から一般市民を対象に救急救命講習を始めた団員がいる。「おひさま救急救命プロジェクト」を立ち上げた山田久代さんだ。彼女は紫明隊の副隊長でもあり忙しい日々の中、愛鷹地区センターを利用し講習会を始めた。毎月1回定期的に開催することにより、救命講習会でAEDや心肺蘇生を学んだ一般市民の方が気軽に繰り返し講習を受けられる場として、また応急手当普及員の資格を取得した消防団員の実践の場ともなっている。



もしもし！大声で呼びかける

多くの仲間の応援が...

この講習会は一人で出来るわけではない。多くの仲間の応援があればこそやっていける。愛鷹地区コミュニティをはじめ、沼津市消防本部、消防団愛鷹方面隊、紫明隊などが協力してくれ広報や講師などを引き受けてくれる。…感謝！

特に地元消防団、愛鷹方面隊の大嶋隊長は、女性の力が最大限生かされるようにと『元始女性は実に太陽(=おひさま)であった』(平塚らいてう)から「おひさま救急救命プロジェクト」と名前を付けてくれた。

沼津市全域に

「楽しく覚える」をモットーとするこの講習会も少しずつ浸透し参加者も増え、さまざまな質問や、感謝の声も聞こえるようになった。夏休み、冬休みなどには「親子教室」を開くことを検討している。家族や、地域の人たちの多くが「応急手当」の知識を習得し、役に立てることができれば、「救える命」が増えることだろう。

紫明隊隊長も、この事業がモデルとなり沼津市全域に広がってくれば良いと考え、バックアップしてくれている。

より多くの市民が身近な場所で「応急手当」を学ぶことによって知識と経験を重ね、地域の防災力を高めていく。この事業が広まっていくことを願ってやまない。

◇代表：山田久代さん
【情報提供・大嶋繁幸】



レポート・三戸部 孝編集委員

地域訪問記

キラリ! コミねっと

コミカレ・ねっとわーく会員の活動紹介します!

熱海コミカレ・ねっとわーく



危険が伴う、トンネル内の落書き消し

国内有数の温泉観光地で活動する熱海コミねっとは、熱海を愛する人たちが集まり、熱心に活動を行っている。

まちの資源を掘り起こす

現在整備活動中の鎌倉古道は、源頼朝が鎌倉に幕府を開いた後、「二所詣」と称して何度も伊豆山神社（走湯権現）へ詣でた道であるが、今では地元の人にさえ知られていない。同会では、平成15年前後から地域団体と協力し、山道の整備をしたが一時中断。今年の7月に「伊豆山をおもしろくする会」の協力で改めて整備活動に取り組んでいる。総勢15人で山道の樹木を伐採し、休憩時にはお互いの会の近況報告や古道話などの交流を図り、有意義な1日を過ごした。

自由に意見を言う事が会の発展

熱海コミねっとは、平成5年10月に発足し現在会員数26人。特徴は、賛助会員枠を設けていることである。本来、コミねっとの会員は、コミュニティカ

レッジ修了者が対象だが、同会の活動に協力したいと申し出た人や、一緒に活動をしてほしいと思った人物に対し賛助会員として門戸を開き、地域での活動も広く展開している。もちろん賛助会員からコミュニティカレッジ受講の促進も行っている。

主な活動は、熱海梅園・駅前間欠泉の清掃活動、鎌倉古道の踏査・整備作業、落書き防止活動、熱海福祉まつりでのコミカレPR活動などと幅広い。特に落書き防止活動は、市条例の制定につなげるなど、会の活動が議会や行政を動かし市全体に輪を広げていった。

ほとんどの会員は別の団体にも所属し、二足、三足のわらじを履き活動する。坂道の多いまちで鍛えられた足腰と、なにより熱海を愛する気持ち強いことが元気に活動できる源なのかもしれない。また「意見を出し合うことは、会の発展につながる。」と太田会長の持論のもと、ざっくばらんに意見を言える環境が、20年間続いている理由だろう。

世界文化遺産の富士山、2020年東京オリンピック開催、温泉のまち熱海。増加が見込める観光客にも地域住民にとっても美しく魅力ある熱海にしていこうと縁の下の力持ち活動の展開に力がこもる。



まちを調査し現状把握

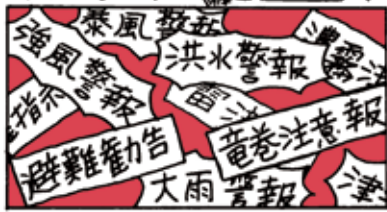
研修スナツプ

地域での活躍を誓い46人が巣立つ

通算34回目となる本年度の「コミュニティカレッジ」が9月21日に終了しました。男性32人、女性14人、計46人が修了し、第1回目からの修了者は、2,037人となりました。地域での積極的な活動を期待します。



コミン家



編集・発行

静岡県コミュニティづくり推進協議会
 〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
 総合社会福祉会館3階
 TEL 054-251-3585
 FAX 054-250-8681
 URL <http://www.sizcom.jp>
 E-mail sizucom0829@po.across.or.jp
 地域情報お寄せ下さい。

コミカレ・ねっとわーく 支部研修会のお知らせ

●東部支部

11月9日(土) 10:30~
 国立中央青少年交流の家

●中部支部

11月16日(土) 10:00~
 吉田町役場中央公民館

●西部支部

10月23日(水) 9:45~
 アミューズ豊田・ゆやホール



「出張コミュニティカレッジin駿東」を開催!

当協議会では、コミュニティ活動に積極的に参加し、その役割を担おうとする人を養成するための講座として、コミュニティカレッジを毎年開催しています。静岡市内で開催するこの講座への参加が難しい地域におきましては、その地域に会場を設け、ミニカレッジを開催することとしています。

今年度は、裾野市で下記のとおり開催します。内容は、コミュニティづくりの大切さや活動の進め方、地域の連帯感の育て方など、基礎から応用までを学ぶものです。

募集人員は、裾野市、御殿場市、三島市、長泉町、小山町、清水町管内から20人前後を予定

応募条件は、2日間とも出席可能な方です。

受講料は、無料です。

当協議会へ直接、又は市町コミュニティ担当窓口を通じてお申し込みください。応募の締切りは、平成25年12月24日(火)です。

日時	研修内容	会場
平成26年 1月18日(土) 9:30~16:30	・開講式	裾野市 生涯学習センター
	「コミュニティリーダー」	
	「コミュニティづくり」	
1月25日(土) 9:30~15:30	「人と人との連携の取り方」	裾野市 生涯学習センター
	「コミュニティ実施計画づくり」	
	・閉講式	

コミュニティ活動賞募集中!!

応募の対象と条件

- 1、今日的な生活課題、例えば、地域の活性化、高齢者問題や子育て支援、自然環境の保護・保全などの快適な生活環境整備、青少年の健全育成、ゴミ減量やリサイクル活動、国際交流などのテーマに取り組み、生き生きとした明るい地域社会の形成に向けて活動しているもの。
- 2、活動(組織)が発足して、1年以上を経過したものとします。
- 3、平成22、23、24年度にこの「コミュニティ活動賞」で優秀賞、優良賞を受賞された地区集団については、本年度は応募できません。

賞

- ・優秀賞…賞楯と記念品
- ・優良賞…賞楯と記念品
- ・奨励賞…賞状

発表

平成25年12月初旬
 (応募者に直接通知します)

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

